

Ms. Onuma / From an opportunity of Ms. Teruko Yashitake's lecture, we had study meetings about "What kind of town you desire?" and held a concert of folklore. Tea time after the concert. Such casual events will lead to enjoyable life. We plan Cherry Blossom Festival, Tanabata Concert, lectures, and trainings.

Mr. Endo / All the members love mountains. We learn the history and nature of Ryozen mountain to guide the visitors. There are 3-hour and 5-hour courses, but we can guide visitors even in an hour. Our reputation spreads by word-of-mouth communication. Ryozen mountain is interesting for its rocks. It has each expression in four seasons and you can experience fresh impression on each time.

まちを少しでも明るくしたい、楽しく暮らしていきたいな、そんな思いがもとになって発足しました。きっかけは吉武照子先生の講演会でした。そこから「どんなまちにしたい?」と勉強会を重ねましたら、「音楽が聞けないよね」という声があがって、フォルクローレのコンサートを開催しました。コンサートの後にはティータイムを設けたり…。そんな何気ないことが、楽しい暮らしへとつながったりするんですよ。

今年からはさくらまつりもまちをあげての取り組みとなりました。そのほかにも七夕コンサートや講演会、研修などを行っています。みんな忙しいですけど、けっして無理をしないで、それでいてみんなに喜ばれるサークルでありたいですね。

明るくて楽しい
まちであるために
みんなで取り組んでいます。



わくわく遊創塾
大沼 光子さん Ms. Mitsuko Onuma

平成10年に発足。現在は男性10名、女性30名ほどで活動中。明るく楽しく豊かな暮らしを提案している。



春・夏・秋・冬…。
それぞれに表情が違う
霊山の魅力を伝えたい。

霊山道先案内人
遠藤 幸作さん Mr. Kosaku Endo

平成9年に発足。登山者に同行して、霊山の魅力を広く紹介している。26名のメンバーが、自分の出番を楽しみにしている。

町政モニターのときに提案したことがきっかけでした。それから案内人養成講座を受講しまして、一年にわたって霊山の歴史と自然を学びました。

メンバーは山好きばかりで、みんな楽しくやっていますね。三時間のファミリーコースや五時間のフルコース、時間がない場合は一時間くらいでも案内できます。山形や栃木などのほか、関東からもたくさんいらっしゃいますね。口コミの評判が広がっています。

霊山は若山にももっています。四季それぞれに表情が違って、何度登っても新しい感動に出会えます。「ありがとう」って手紙が届いたり、中には涙を流して帰ってくる方も…。そんなときは本当に嬉しかったと思います。

Mr. Ohashi / Ryozen Town has 23 Taiko drum preservation associations and have 700 members. Ryozen Taiko has a long history and has been featured on each area's shrine festival from about 350 years. Preservation associations were founded in August 1984. It became famous now and sometimes requested to perform in the events of various places in Japan.

霊山のまちが好きだから…。
まちでがんばる人の輪は、どんどん
大きく広がっていきます。



霊山太鼓保存会
大橋 万五郎さん Mr. Mangoro Ohashi

町内にある霊山太鼓の部会は23団体に及ぶ。その団体をまとめて、霊山太鼓の技を継承していくために創設された。現在会員は700名。

打って人の「心」を
ひま付けるのが
太鼓の魅力です。

霊山町には各地区に太鼓の保存会がありまして、その数は二十三団体、七百名くらいいます。太鼓の魅力は何となく伝わっています。打なでたける(ただたける)ことですね。打なで離子なんかは元気が出るし最高に盛り上がりですね。練習は各団体で行います。笛は少し難しいので、年に六回一回で講習会をやっています。町外から参加される方もいらついていますよ。霊山太鼓の歴史は古く、三百年くらい前から、各地区にある神社の祭礼などで行われていました。その太鼓を伝承していきつつ、昭和五十九年の八月に保存会がつけられました。今では有名になりました。イベントなどで披露してほしい。保存会のメンバーが全国に出かけていってほしいですね(笑)。